



2020年 10月 題 紅

赤ちゃんの頬っぺのような紅りんご  
作/てくてく ま

[てくてくさん]

りんご畑のりんごが赤く熟して、美しく朝陽に輝いています。生れたばかりの赤ちゃんのように。実りの秋ですね。

[西沢まもるの一言]

この頃は、ほっぺの真赤なく赤ちゃんはあまり見かけなくなって、さびしいですね。



2020年 7月 題 クーラー

クーラーがないと頭がクーラクラ  
作/宮尾 柳泉 ま

[宮尾 柳泉さん]

今年も暑い夏の予報です。熱中症にならないように、クーラーのお世話にもなりながら、乗り切りたいですね。

[西沢まもるの一言]

クーラーとけんかしたら、絶対、人間の負けですね。



2020年 4月 題 咲く

踏まれても踏まれても咲くたんぽぽよ  
作/まあちゃん ま

[まあちゃんさん]

冬でも少し暖かい日は散歩します。その時タンポポが咲いていてビックリ。タンポポは強いなと思いました。

[西沢まもるの一言]

たんぽぽの健気(けんげ)さには降参です。うらやましくなります。



2020年 1月 題 寒い

ポチはいいね 自前の毛皮身につけて  
作/チャトラン ま

[チャトランさん]

夏は暑苦しかったモコモコの毛も、寒い冬になれば役に立つワン!

[西沢まもるの一言]

ワンコはエライ! 冬は冬毛、夏は夏毛に自動的に変わる便利な毛皮だもんね。



2020年 11月 題 燃やす

焚火して半分炭の芋うまい  
作/ねこはな ま

[ねこはなさん]

焼き芋会に誘われ、楽しい一時でした。最後に残っていた芋が半分炭になって転がり出て、その甘い事。皆で大笑い頂きました。

[西沢まもるの一言]

焼きいものこげた皮の内がわが、おいしいんです! 昔は“おいすぎる”とホッペが落ちる…”といいましたね。



2020年 8月 題 そうめん

歯が無くもそうめんだけは腹いっぱい  
作/塩入 教香 ま

[塩入 教香さん]

年を取るとめっき歯が弱くなり、固い物などは遠ざけてしまうけど、そうめんはつるつると、いくらでも食べれて好きです。

[西沢まもるの一言]

ソーメンは消化がいいので、つい食べ過ぎてしまいますね。でも、味わっている内にすぐ秋がきますよ!



2020年 5月 題 柱

電柱に印をつけて  
犬が行く  
作/ふきのとう ま

[ふきのとうさん]

物干し台からポーッと通りを眺めていたら、電柱にかわいい散歩の犬が、片足を上げて印をつけて行きました。

[西沢まもるの一言]

ほんとうにわんこは電柱にオシッコかけるのが好きですね。「開」のマークは読めないもんね。



2020年 2月 題 豆

「鬼は〜外」。居心地良すぎ知らん顔  
作/酒井 猛 ま

[酒井 猛さん]

そんな鬼がいたら愉快で憎めません。きつと穏やかで温かい家庭のせいかもしれません。

[西沢まもるの一言]

人間の世界には色々な人が…。鬼の世界にも楽しいオニさんが!



2020年 12月 題 眠る

生れていったいくつ寝たのかな  
作/算盤 ま

[算盤(そろばん)さん]

この世に生を受けて30,700日ほど。84歳の老婆です。今年はコロナさきで巣ごもり、まったく孤独な日々でした。行事中止が相次いだのにもミッタ!

[西沢まもるの一言]

私の場合、365×85で計算してみて、意外と数としては少ないものですね。居眠りは足してありません。



2020年 9月 題 清い

墓石を清めつぶやく会いたいネ  
作/倉ちゃん ま

[倉ちゃんさん]

「あのネ、訊きたいことがあるの。それから話したいこともあるのよ」。逝った人の笑顔がうかび、会いたくなりました。

[西沢まもるの一言]

どんなに会いたくても夢でしか会えないんですよ。偉いものですね。



2020年 6月 題 晴れる

犬と散歩 天気の良い日はしゃいでる  
作/大田 佳泉 ま

[大田 佳泉さん]

犬も天気の良い日は、わかるのでしょね。前に飼っていたしは犬は、鳴かないで飛び跳ねていました。

[西沢まもるの一言]

コロナにいじめられ、その上、長梅雨にいじられたらツライですね。程々をお願いします。



2020年 3月 題 道

間違えた道はあっさり引き返す  
作/広瀬 利雄 ま

[広瀬 利雄さん]

趣味捜しにかれこれ首を突っ込んでみましたが、長続きしません。数年前「川柳のたのしさ」に出会い続けられています。

[西沢まもるの一言]

間違いに早く気が付いた方が勝ちですね。